



那覇市立教育研究所

研究所だより



那覇市金城3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



教育目標達成のために
所長 田中 浩三

各学校では教育目標を達成するために、多くの取り組みが実施されている。本年度取組の重点化として「重点目標」を位置づけて取り組んでいることだと思ふ。

重点目標により組織全体の本年度の方向性が明確になり、協働体制による目標達成を試みることができるからである。ところが、このような管理者の意図していることと教職員との間に、その捉え方や方向性に意識差が存在しているように思える。

そこで目標達成に向け、組織全体がベクトルを同じにして、しかも意識的に取り組むための方策等を各学校の実践等も参考にしながら考えてみたい。

一、重点目標は三つ五項目が適当であると浅野良一氏（兵庫教育大学教授）は述べている。多いと取組が分散化してしまい達成も困難になるとのこと（実際市内学校には十項目以上のところもある）。

二、重点目標設定の際には、前年度学校評価や学年会等組織の評価（反省）をもとに「今、なぜ、そのことを重点的に取り組もうとするのか」という根拠を示し、お互いの納得・理解のもと、共通課題となるような目標を設定が望ましい。

三、重点目標の段階では抽象的な表現が多い。組織全体で取り組むためには、重点目標をさらに具体化し実践化できるように具体（行動）目標で示していくことがわかりやすい。

四、これら目標については、組織全体で確認（説明）しながら進めることが大事である。さらに、目標達成に向け、機会ある毎に激励や賞賛・啓発等を心掛け、意欲づけや継続性を図る必要がある。

五、重点目標を明確化・具体化することは実践・評価・改善の組織マネジメントの充実にもつながる。また、学年・学級経営や教科経営との連携、さらには、教職員評価システムにおける個人目標との連携等により、目標とのつながりを意識した取組が図れる。さらに、個々の面談の際も重点目標達成にむけた視点での助言等もしやすくなる。

以上、重点目標を生かした教育目標達成について述べてみたが、各学校では工夫を凝らした様々な方法等により目標達成が図られていると思う。

今学校教育においては、学力向上への取り組みや生徒指導や危機管理への対応等、解決しなければならない課題が山積している。このような課題を解決するためには組織全体が課題（目標）を共有し組織力を発揮することが、現状打開には効果的に機能していくものと考えている。

初任者研修

4月18日（木）、第2回研修会が行われました。「思考力・判断力・表現力等をはぐくむ授業づくり」や「情報セキュリティ」「学級経営の充実」について講義が行われました。



玉村指導主事



比嘉指導主事



教職10年経験者研修

5月15日（水）第2回研修会が行われました。「道徳授業の在り方と指導案について」「思考力・判断力・表現力等をはぐくむ授業づくりと評価」について講義が行われました。



大村指導主事



新任管理職研修会 研究主任研修会

4月25日（木）に新任管理職研修会、5月9日（木）に研究主任研修会が行われました。

新任管理職研修会では、真嘉比小学校校長 崎原永輝先生と田中浩三所長による講話が行われました。

研究主任研修会では、前神原小学校校長 池間生子先生による講話と、グループでのワークショップが行われました。



崎原永輝校長



池間生子先生

教育研究員 所内講座 情報モラル・HP作成 4/24(水)



上地弘美先生



現代の社会で、子ども達からネットやいろいろな情報を切り離して生活させる事は難しいので、大人がメリットやデメリットをしっかりと伝え、正しい活用法を考えさせることが大切だと思います。

ホームページ更新は仕組みがわかると考えていたほど難しくはないと感じました。現場に戻ったら、協力出来るところはがんばろうと思います。

第100期 研究員 テーマ検討会・項立て検討会

研究がスタートし、1ヶ月が経ちました。
各検討会が終わり、研究の構想が見えてきました。
研究員の声を紹介します。

項立て検討会を終え、いかに自分自身の課題が整理されていないかということに気がきました。鋭い指摘や助言を頂く中で、私自身の伝える力の不足・表現力の乏しさを痛感しました。今一度、どんな研究にしていきたいのかという事を整理したいです。
また、テーマや手立ての整合性や検証に向けての見通しをしっかりともてるようにとりこんでいきたいです。



下地 智子



喜屋武直人

①どんな研究がしたいのか、②そのテーマを達成するためにどんな工夫をするのか、③実践可能なことか、④どう検証していくか等、見直しのポイントを押さえて、これからも研究を一步一步進めていきます。
理論に基づいた検証ができるように、しっかりと基本仮説・作業仮説を立てて、子ども達の変容が見取れるように見直しをもって研究を進めていきます。

言葉一つで、やりたい方向性が変わってくることを知り、慎重に言葉の吟味をする必要を感じました。やりたいことはぶれていないつもりでも、読み手に伝えることができない表現力の乏しさを痛感しました。
もう一度、文章を見直し、言葉のずれや内容の整合性など一つひとつ丁寧に見直ししたいと思います



大城 真弓



富山 仁志

自分ではできたと思っていた文章表現も、指摘されて初めて間違いに気づくことが数多くありました。さらに、いろいろな資料や文献を読んで理解した「活用」についても、いざ説明しようと思ったら、それができず、自分自身わかったつもりになっていることに気づきました。
今後は中間検討会に向け、しっかりとテーマや仮説を検討し、資料も読み込み、計画立てを進めていきたいと思っています。



田中浩三所長



又吉めぐみ
指導主事

今月のお勧め

『教師の意識を変える校内研修マニュアル』
有本昌弘、白鳥信義 学事出版 2010

教員の質を上げるための研修をどうするのか。若手教員をどう育成すればよいのか。公立学校再生への近道として、教員の資質向上、「校内研修」改革の手法を紹介する。【「TRC MARC」の商品解説】より



授業づくり講座 I

4月15日(月) 田中浩三所長による「学級経営の充実に向けてのポイント」についての講座が開催されました。



那覇市内の小・中学校の先生方が31名参加し「学級経営と週案活用」について

- どのような学級づくりをめざすのか
- 学級崩壊・手のかかる子どもへの対応
- 信頼関係のある学級づくりをめざして



など学級経営をする上で大切なことの講話がありました。

参加された先生方からの感想の一部を紹介します。

- 小：具体的な週案の記載例や書き方についての説明が良かったです。また、資料も良かったと思います。資料を見直して、実践に活用していきたいと思います。
- 小：学級経営の役割や、学級の組織づくりやルールづくりについて、その意味や意義をご丁寧に説明していただき、改めて捉え直すことができました。
- 中：初めての担任でとても不安でしたが、このように不安なことに対してどのようにしたらよいのかを教えていただく機会をいただけて少し安心することができました。
- 中：学期の最初で厳しく指導していたが、あまりやりすぎても良くないとわかった。生徒の自然な個性を受け入れつつ、けじめのある学級経営を行っていきたい。



授業づくり講座 II



上江洲指導主事

5月13日(月) 上江洲朝男指導主事・奥間千賀子指導主事による「思考力・判断力・表現力等をはぐくむ授業づくり」についての講座が開催されました。

那覇市内の小・中学校の先生方が35名参加し言語活動を充実させる展開の工夫について講話と授業づくりの演習を行いました。先生方からの感想の一部を紹介します。

- 小：教科に合わせて、どのような言語活動を取り入れるべきなのか考えることができました。また、自分の授業づくりを見直すことができたので改善していきたいと思います。
- 小：めあて、まとめの立て方等とても勉強になりました。何を目的としているのか、生活の中でどのように活かせるのかも一度練り直して授業をつくってみたいです。
- 中：活用する力を身に付ける為の授業展開がそれぞれの教科に例として挙げられていたため非常に分かりやすかった。早速、明日より今日学んだことを活かしたいと思います。
- 中：まだ授業が始まって一ヶ月程しか経っておらず、自分の授業はこのままでいいのかと思っていた時に、この講座が開かれてとても助かりました。言語活動メモ、たくさん活用していきたいと思います。

